

安全で信頼される 山口県産米を つくりましょう！

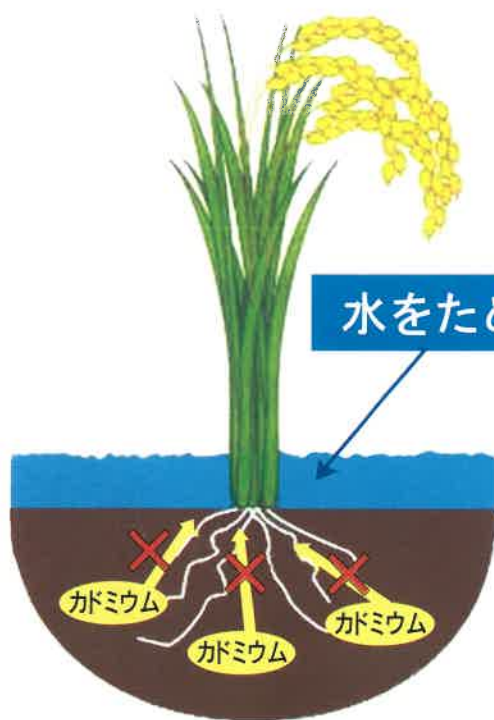
農家のみなさんへ

お米に含まれるカドミウム基準値が、平成23年2月28日に改正され、従来の1.0ppmから0.4ppmに変更になりました。

基準値を上回ったお米は、焼却処分になります。また、周辺への風評被害も懸念されます。

カドミウムのお米への吸収は、出穂前後に「湛水管理」をすることで抑えることができます。

「湛水管理」をしっかり行い、安全で信頼される山口県産米をつくりましょう！



田面が空気に触れると、
土壌中のカドミウムが
稲に吸収されやすくなります。

湛水管理とは

カドミウムを稲に吸収させないため、出穂前20日間と出穂後20日間、田面を露出させない水管理のことです！！

※常に深水にする必要はありません。

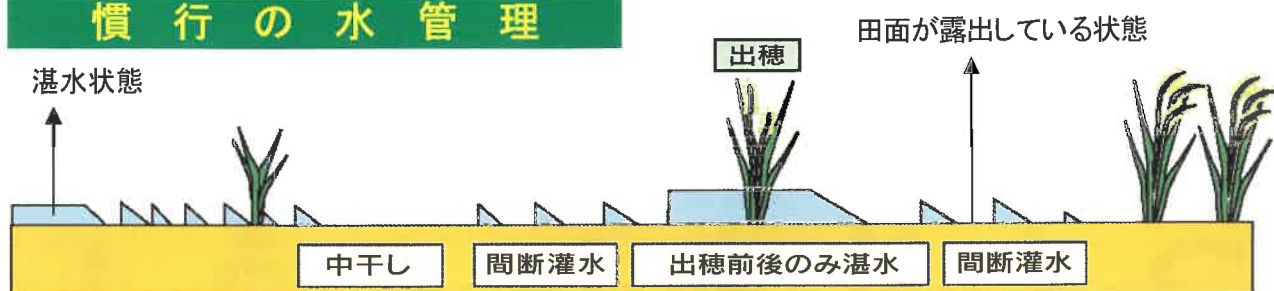
※根腐れ防止のため、急激な水管理は避けましょう。

山口県カドミウム対策技術協議会

問合せ先

最寄りの農業協同組合又は農林事務所農業部、山口県農業協同組合中央会
全国農業協同組合連合会山口県本部、山口県農業振興課

慣行の水管理



水管理が下のように変わります

カドミウム対策の湛水管理



管理のポイント

- ①少量の水でも田面が露出しないように、田面を均平にしましょう！
- ②丁寧な代かきや畦塗りで、漏水を防止しましょう！
- ③中干しは早めに開始し、軽く足跡がつく程度から小さなひび割れ程度にとどめましょう！
- ④出穂前20日間と出穂後20日間は、水田に水を張り、田面を露出させない（空気に触れさせない）ようにしましょう！
- ⑤落水は、秋作業に支障のない範囲で、出来るだけ遅くしましょう！
- ⑥はまりやすく秋作業が大変な湿田では、早めで長めの中干しと溝切りを行い、落水時期も水はけの状態に合わせ調整しましょう！
- ⑦水温が高い状態が続く場合には、水持ちが良い水田では、田面を露出させないように注意しながら適宣水の入れ替えや掛け流しを行います。

※アルカリ資材の施用もカドミウムの吸収抑制に効果があります。

※堆肥などの施用による土づくりと併せて、石灰や珪酸資材、含鉄資材などのアルカリ資材も施用しましょう。